

第279号 2011年 4月 1日
弘前大学総務部総務課

学術講演会・研究発表会・公開講座

知的財産セミナー「生物多様性条約セミナー」

弘前大学知的財産本部では、知的財産セミナー「生物多様性条約セミナー」（TV会議システム利用：発信元一帯広畜産大学）を、下記の通り受信開催することとなりましたのでご案内いたします。

生物多様性条約は環境保護条約であると同時に、経済条約としての側面を持っていることから、生物遺伝資源が豊富な海外諸国との共同研究に際しては十分な配慮が必要となってきました。本セミナーでは、生物多様性条約、ABS(Access and Benefit Sharing)名古屋議定書および海外の生物遺伝資源のアクセスの実例について説明します。皆様のご参加お待ちしております。

1. 日 時：2011年 4月 7日（木） 15：00～16：30
2. 場 所：農学生命科学部3階 SCS室
3. テーマ：生物多様性条約、ABS名古屋議定書とNITEの海外微生物探索
4. 講 師：（独）製品評価技術基盤機構（NITE）バイオテクノロジー本部
生物遺伝資源開発部門 参事官 安藤 勝彦 氏
5. 対 象：本学教職員・学部学生・大学院生・研究員
6. 参加料：無 料

※参加を希望される方は、4月5日（火）までに、電話またはメールにてお申し込みください。

問い合わせ先： 弘前大学知的財産本部
電 話：0172-39-3994（担当：下山）
E-mail：chizai@cc.hirosaki-u.ac.jp

**保健学研究科緊急被ばく医療検討委員会
平成22年度 第2回緊急被ばく医療研修報告会開催のお知らせ**

弘前大学大学院保健学研究科では、被ばく医療に係わる医療スタッフ育成のために国内外の緊急被ばく医療研修会に参加して得られた情報を公開し、研修内容の共有化を図るため、「緊急被ばく医療研修報告会」を開催しております。今回は、海外研修のほか、茨城県で放射性物質を含む爆弾が爆発したという想定で73機関、約600名が参加して開催された大規模な実動訓練などの報告もご紹介します。

東日本大地震がもたらした福島第一原発事故により、被ばく医療スタッフ養成の重要性が再認識されております。被ばく医療に興味をお持ちの方のご来場をお待ちしております。

1. 日 時：2011年 4月14日（木） 17：40～19：25

2. 会 場：弘前大学保健学研究科総合研究棟6階 第24講義室

3. 対 象：教職員、学部学生、大学院生、弘前市民、その他

4. 参加費：無 料。事前のお申し込みは不要です。

5. プログラム

・ 挨拶 17:40～17:42
石川 孝 講師（医療生命科学分野）

・ 演題発表

【座長：西澤 一治 教授（放射線生命科学分野）】
17:42～18:20

(1) Armed Forces Radiobiology Research Institute (AFRRI)留学報告
三浦 富智 講師（病態解析科学分野）

(2) UCSF研修報告—Radiation Nursing/ Radiation Oncology/ Oncology CNS Program—
會津 桂子 助手（健康増進科学分野）

(3) オークリッジREAC/TS・Radiation Emergency Medicineコース研修報告
小山内 暢 助手（放射線生命科学分野）

【座長：齋藤 陽子 教授（放射線生命科学分野）】 18:20～18:58

(4) 「がん放射線治療と看護」を受講して
井瀧 千恵子 准教授（障害保健学分野）

(5) 第42回原子力安全に関する特別セミナーに参加して
野田 美保子 教授（老年保健学分野）

(6) 第4回緊急被ばく医療セミナー
伊藤 巧一 准教授（生体機能科学分野）

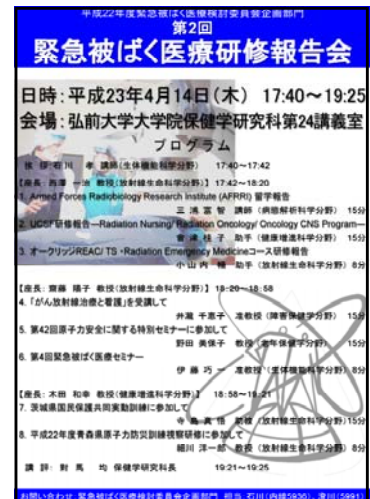
【座長：木田和幸 教授（健康増進科学分野）】 18:58～19:21

(7) 茨城県国民保護共同実動訓練に参加して
寺島 真悟 助教（放射線生命科学分野）

(8) 平成22年度青森県原子力防災訓練視察研修に参加して
細川 洋一郎 教授（放射線生命科学分野）

・ 講 評 19:21～19:25 對馬 均 保健学研究科長

問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科 石川 孝
電 話：0172-39-5936
E-mail：ti3054@cc.hirosaki-u.ac.jp



学内掲示板

男女共同参画推進室からのお知らせ

第4回女性研究者フォーラムのお知らせ（震災の影響による日程変更はございません）

弘前大学男女共同参画推進室は、平成22年10月以降隔月で「女性研究者フォーラム」を開催してまいりました。女性研究者フォーラムは、学部を超えて女子学生と女性教員の交流する場です。参加費は無料、事前の申し込みは不要です。

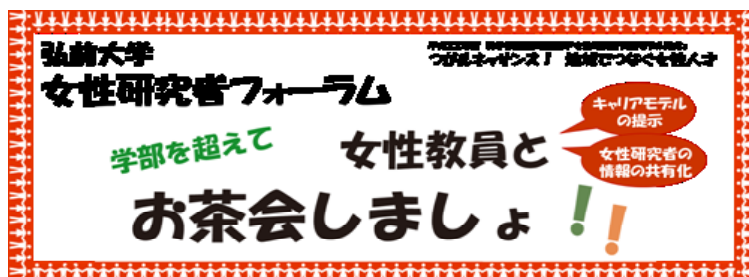
平成23年度の初回となる第4回女性研究者フォーラムでは、保健管理センター准教授の田名場美雪先生をお招きし、5月のモヤモヤや震災による不安を皆で一緒に乗り切ることを目指します。

また、弘前大学に新しく加わった女子学生・女性研究者の顔つなぎもすすめていきます。

今年度も多くの方々に「参加して良かった」と感じて頂けるよう、努力してまいります。よろしくお願いたします。

1. 日 時：2011年 5月11日（水） 15:00～16:00
2. 場 所：弘前大学学生会館2F スコーラム
3. 参加費：無 料（コーヒー付）
4. 話題提供者：弘前大学保健管理センター准教授
（カウンセラー・臨床心理士） 田名場 美雪
5. 話 題：五月病のモヤモヤ、ふきとばそう
6. 主 催：弘前大学男女共同参画推進室
7. 共 催：教育・学生委員会（このフォーラムは、FDワークショップとして開催されます）

問い合わせ先： 弘前大学男女共同参画推進室 鶴井 香織
電 話：0172-39-3885
E-mail：equality@cc.hirosaki-u.ac.jp
H P：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/event/>



弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上、ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先： 弘前大学出版会（附属図書館内）
電 話：0172-39-3168
F A X：0172-39-3171
E-mail：hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

編集担当から） 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務課広報・支援グループ

E-mail：jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp、Fax:37-6594、内線：3012